

べっぴ 市議会だより

2019.11.1

No.147



ビーコンプラザ

CONTENTS

- P 2 主な議案の概要
- P 3 議決結果
- P 4 議案質疑・常任委員会審査
- P 5 予算決算特別委員会(平成30年度決算認定審査)意見書
- P5~11 一般質問(18名が市政を問う)
- P12 政策研究会活動報告、編集後記

安全・安心な給食の提供を！

令和元年第3回定例会は8月26日から9月20日までの26日間にわたり開催されました。

今定例会では、予算議案7件、条例議案10件、その他議案5件、決算議案9件、人事議案11件、議員提出議案4件、議員派遣1件が上程されました。

採決においては、8件の議案について、一部の議員から反対する旨の意思表示があり、そのうち、議員提出議案1件が否決されました。その他の議案については、すべて原案のとおり可決等されました。

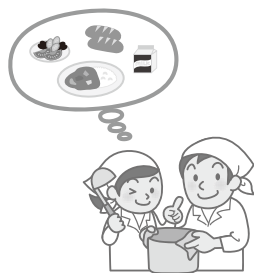
今議会では、老朽化した学校給食共同調理場の施設・設備の早期更新に向け、基本計画策定業務等委託料の補正予算及び債務負担行為補正について、数名の議員から質疑がありました。

当局からは「学校給食共同調理場と各小学校にある単独調理場の多くが、経年劣化により老朽化が著しく、また大部分が耐震基準を満たしていない。さらに、衛生面においても、学校給食衛生管理基準を満たす必要がある。これまでの施設整備と運営について、「学識経験者」「保護者」などで構成される「別府市学校給食のあり方検討委員会」から、提出された意見書を基に、教育委員会は、保護者や市民を対象に、4回の説明会を開催し、協議を重ね、整備方針が決定した。」との説明がなされました。

議員からは説明会参加者の少数を懸念して、充分議論がなされたのか。決定は拙速過ぎるのではないか。調理員、栄養士など現場の職員の声を再度聴くべきで

あるとの意見が出されました。

また、学校給食の衛生管理について、HACCPの考え方に基づいた施設整備を進めるべきであり、別府の未来を担う子どもたちに安全・安心な給食を提供できる学校給食共同調理場建設が要望されました。



※HACCP（ハザップ）

食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危険要因（ハザード）を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの危険要因を除去または低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法

～ 主な議案の概要 ～

● 一般会計補正予算

※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています。

学校給食共同調理場の施設・整備の基本計画策定 債務負担行為 1892万円
施設・設備の老朽化が深刻な状況で早期の更新が必要なため、基本計画を策定します。

「ハイパフォーマンスジム別府」の設置に伴い運営に必要な経費
..... 1405万円

高機能で充実したトレーニング機器を揃え、健康づくりを目的とした一般の方からアスリートまで、全ての市民が満足できる施設として利用いただけます。

ホテル・旅館の人手不足解消に向けた支援 313万円
「空き時間を活用したい人」と「人手がほしいホテル・旅館」をマッチングさせることにより、ホテル・旅館の人手不足を解消します。

● 条例

別府市森林環境譲与税基金条例の制定について

森林環境譲与税を森林の整備等に要する費用に充てるため、別府市森林環境譲与税基金を設置することに伴い条例を制定します。

第3回定例会における議案等の審議結果など

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果
議第71号	令和元年度別府市一般会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)	議第97号	平成30年度別府市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (全会一致)
議第72号	令和元年度別府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)		議第98号	平成30年度別府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (賛成多数)
議第73号	令和元年度別府市競輪事業特別会計補正予算(第1号)		議第99号	平成30年度別府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (全会一致)
議第74号	令和元年度別府市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)		議第100号	平成30年度別府市水道事業会計決算の認定について	原案可決(賛成多数)
議第75号	令和元年度別府市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)		議第101号	令和元年度別府市一般会計補正予算(第3号)	同意 (全会一致)
議第76号	令和元年度別府市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		議第102号	別府市固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて(徳田靖之)	
議第77号	別府市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部改正について		議第103号	別府市固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて(永富絹代)	
議第78号	別府市森林環境譲与税基金条例の制定について		議第104号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて(松本久美子)	
議第79号	別府市手数料条例の一部改正について		議第105号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて(佐藤弘代)	
議第80号	別府市立学校の設置及び管理に関する条例の一部改正について		議第106号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて(宮脇命人)	
議第81号	別府市市民会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について		議第107号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて(児玉明)	
議第82号	別府市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について		議第108号	別府市職員懲戒審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて(別府市議会議員 山本一成)	
議第83号	別府市子ども・子育て支援法に基づく過料を定める条例の一部改正について		議第109号	別府市職員懲戒審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて(別府市議会議員 市原隆生)	
議第84号	別府市印鑑条例の一部改正について		議第110号	別府市職員懲戒審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて(別府市議会議員 手束貴裕)	
議第85号	ハイパフォーマンスレジム別府の設置及び管理に関する条例の制定について		議第111号	別府市職員懲戒審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて(別府市職員 榎山隆士)	
議第86号	別府市営店舗の設置及び管理に関する条例の一部改正について		議第112号	別府市職員懲戒審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて(別府市職員 松川幸路)	
議第87号	旧慣による公有財産についての権利を廃止することについて		議員提出議案第5号	別府市議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決 (全会一致)
議第88号	工事請負契約の締結について(別府西中学校管理教室棟外新築工事)		議員提出議案第6号	大分自動車道及び東九州自動車道の濃霧対策に関する意見書	
議第89号	工事請負契約の締結について(別府西中学校管理教室棟外新築電気設備工事)		議員提出議案第7号	高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書	
議第90号	工事請負契約の締結について(別府西中学校管理教室棟外新築機械設備工事)		議員提出議案第8号	医療・介護労働者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書	原案否決 (賛成少数)
議第91号	市長専決処分について(旧別府市美術館解体工事における建設工事請負変更契約)	報告第10号	弾力条項の適用について	報告	
議第92号	平成30年度別府市一般会計歳入歳出決算の認定について	報告第11号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率について		
議第93号	平成30年度別府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	報告第12号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率について		
議第94号	平成30年度別府市競輪事業特別会計歳入歳出決算の認定について	報告第13号	別府市国民保護計画の変更について		
議第95号	平成30年度別府市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	報告第14号	市長専決処分について	原案可決(全会一致)	
議第96号	平成30年度別府市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について		議員派遣		

賛否の分かれた議案等の賛否一覧表

議案等番号	件名	議決結果	会派・議員名																									
			自民党議員団							公明党				自民新国会		市民クラブ		日本共産党議員団		改進黨 財務 クラブ 議員 団								
			首藤正	河野則	野口哲	松川峰	黒木愛	萩野忠	松川章	安部一	手束貴	阿部真	日名子	榎田責	堀本隆	市原卓	荒井宏	穴井二	山本一		森大輔	小野正	加藤信	森山治	三重忠	平野昭	美馬文	泉武弘
議第88号	工事請負契約の締結について(別府西中学校管理教室棟外新築工事)	可決(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第89号	工事請負契約の締結について(別府西中学校管理教室棟外新築電気設備工事)	可決(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第90号	工事請負契約の締結について(別府西中学校管理教室棟外新築機械設備工事)	可決(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第92号	平成30年度別府市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第93号	平成30年度別府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第98号	平成30年度別府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第101号	令和元年度別府市一般会計補正予算(第3号)	可決(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第8号	医療・介護労働者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書	否決(少数)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	

議案賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」、議長は「/」(採決に加わらない為)、法律により、採決に加われない議案は「除」

議案質疑

今定例会議案質疑は、執行部が提出した令和元年度各会計補正予算や条例などの議案に対し、8月30日に5名の議員が質疑を行いました。そのうち主な質疑内容を掲載します。

就労対策等事業について

問 事業の概要は。

答 現在、市内のホテル旅館では、人手不足が続いており、今後新たにホテルが建設されます。

今回、人手不足の解消を図るため、学生、シニア層主婦層など新たな担い手となる労働力を掘り起こすために必要なシステムの構築や、外国人の雇用制度、宿泊業の生産性向上に対する説明会を開催します。この宿泊業就労支援委託事業の委託先は、Biz LINKを予定しており、実際の派遣業務は、Biz LINKが派遣業者と協定を締結し、派遣業者を介して業務を行うものです。本

事業は関係機関、関係団体と連携を図りながら実施していきます。

問 なぜ、Biz LINKに委託するのか。派遣業者の選定は。

答 Biz LINKは、本市が地域経済の持続的な発展と住民生活の向上に寄与することを目的として、主体となつて設立した一般社団法人です。本市と一体感を持って各種事業の推進に、臨めるものと期待をしています。

また、派遣業者の選定は、Biz LINKで行います。派遣業者の役割は、採用業務、契約、派遣請負管理のほか、人材の教育を行うことも含まれます。主婦層、シニア層、学生の登

交通体系整備大所・小坂地区乗合タクシー実証運行について

問 安心院〜亀川線バス路線の廃止に伴い、地元住民との協議は充分行われたのか。

答 大交北部バスの9月末廃止に伴い、同バス路線を利用していた住民に聞き取り調査を行い、自治会への説明会を開催しました。大所・小坂地区住民への説明を今後行う予定です。

問 完全予約制であるが、既存のバス停留所を利用するのか。

答 安全面等を考慮し、バス停の活用はしません。大所・小坂地区内は、ドアツードアで自宅まで送迎しますが、車両の乗り入れが困難なところでは、ポイントを決めて乗降します。

常任委員会審査

本会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに詳しく検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。今定例会では、令和元年度補正予算や条例などの議案に対し審査を行いました。

今回、各常任委員会に付託

されました議案につきましては、当局の説明を適切・妥当と認め、全員異議なく可決等されました。

●総務企画消防委員会

「大所・小坂地区乗合タクシー実証運行」は、地区住民の移動手段確保が急務のため、10月から事前予約型乗合タクシーの実証運行を別府市タクシー協会に委託する説明がありました。委員からの対象地域の住民のニーズ調査についての質疑に対し、まずは移動手段確保が急務のため乗合タクシーの実証運行を行いながら調査した旨の答弁がありました。

●観光建設水道委員会

「ハイパフォーマンスジム別府」の設置に伴い運営に必要な経費を補正計上している

との説明がありました。

委員から、ジム利用者へのPRの仕方について意見がなされ、当局から、ジムを利用される方それぞれの目的に合った周知方法を検討していきたいとの答弁がありました。

●厚生環境教育委員会

「幼児教育・保育の無償化」に伴い、幼稚園等に通園する園児の保護者負担軽減のための補助金等を補正計上している説明がありました。

委員からの無償化による財政負担についての質疑に対し、今年度は臨時交付金で、次年度以降も地方交付税に算入されるため、基本的に負担はないとの答弁がありました。その他、補助申請の手続きが複雑であるため、保護者等へ制度の周知徹底を図るようとの意見がありました。

予算決算特別委員会 (平成30年度決算認定審査)意見書

予算審査と決算審査の循環性を確保するため、予算決算特別委員会を開催し、次年度の当初予算編成に反映するよう、意見書を執行部に提出しました。

平成29年度より、予算決算特別委員会に名称を変更し3年目となる本年も、「当初予算審査と決算認定審査の循環性を図る」とともに、「決算認定審査の意見を次年度の当初予算編成に反映すること」を目的に9月定例会において、全議員による審査を実施しました。

決算で審査された内容が、翌年度当初予算編成に反映されてきているこれまでの現状を見れば、この特別委員会の目的が着実に成果を上げてきているものと考えています。

今年も昨年と同様、委員会としての意見書を次のとおり執行部に提出しました。

1 持続可能な財政運営

経常収支比率は0・3%改善し、97・5%となって

いるが、依然として義務的経費の比率が高く硬直化した財政状況が長期化かつ固定化してきており、実質単年度収支も3年連続で赤字となっている。持続可能な財政運営を図るため、次の事項の実施を求める。

2 効果の検証

「決算に係る主要な施策の成果に関する説明書」に示されている事業の評価について、現時点では目標とする成果が得られていない事業も見受けられる。組織体制の見直し等、費用対効果をしっかりと見極め、事業成果が希薄な場合は事業の見直しも含め検討すること。

また、指定管理者制度について、事業報告を精査し必要な指導監査を行うとともに民間のノウハウを最大限に活用することにより、制度の趣旨である「市民サービスの向上」と「経費の削減」を図ること。

各種団体への補助金は、団体運営費補助金やイベント補助金等があるが、特に団体運営費補助金は補助金額も大きく、事業内容の公益性と透明性を高めることが必要である。当該団体の収支状況等、補助金交付の妥当性を十分に検証し、適正な補助金の執行を図ること。

3 補助金の必要性の検証

本意見書を令和2年度の当初予算編成に反映することを要望する。

4 次年度(令和2年度)の予算編成等について

また、予算審議と決算審査の循環性を図るため、令和2年(令和元年度決算認定審査)予算決算特別委員会において、その取り組みについての回答を求める。

「決算に係る主要な施策の成果に関する説明書」に示されている事業の評価について、現時点では目標とする成果が得られていない事業も見受けられる。組織体制の見直し等、費用対効果をしっかりと見極め、事業成果が希薄な場合は事業の見直しも含め検討すること。

一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。9月議会では18名の議員が市当局の見解をただしました。主な内容は次のとおりです。

ています。

旧南小学校跡地開発の現状と今後について

自民党議員団

日名子敦子 議員



問 現在の進捗状況と今後の予定は。

答 旧南小学校跡地活用事業については、昨年度、事業者の選定を実施し、6月議会において、公共施設整備請負契約と土地売買契約の議案が可決されました。7月下旬から体育館等の既存施設の解体工事を行っていき、並行して造成工事の設計、手続きと複合公共施設の設計等を行っ

問 地元説明会時の地元住民の意見や要望をできる限り計画に反映してほしい。また、防災の拠点になるのか。避難の際に必要な水や毛布等の備蓄は可能か。

答 7月1日と2日に旧南小学校跡地活用事業と都市計画道路の整備に関して地元説明会を開催し、様々なご意見をいただきました。現在、事業者と協議しながら可能な範囲で対応等を検討しています。

防災に関しては、3階建ての公共施設の屋上部分にも一時的に避難が可能なようにとの地元からの要望もあり、そのような計画にしています。共同住宅については、民間事業者で計画していますが、今後そのよう

なお願ひもしていきます。また備蓄についても、周辺の施設等も含めまして、防災部局と連携していきます。

問 旧南小学校跡地開発事業の工事に続き、都市計画道路の整備も計画中だが、通学路の安全対策は万全か。

答 現在、解体工事を行っています。夏休み期間中は日中も児童が道路を通行することがありますので、廃材の搬出は夏休み終了後に行うことにするなど、児童クラブとも話をし、配慮した対応をしているところです。

今後、通学等への配慮やガードマンの配置など、特に通学路の安全対策につきましては、学校や関係者などと相談しながら、事業者に徹底するよう指導します。



地域が行う道路及び水路の管理と今後について

自民党議員団

河野 数則 議員



問 里道や水路の除草や清掃は、昔より道普請、井手普請として地域の方々が自治会行事として行っている。里道水路の法定外公共物は国から県市町村へと権限移譲されてきたが、これを踏まえて今後行政として地元自治会に対してできることはないか。

答 里道、水路を行政が全てを管理するのは困難な面があり、永年にわたり管理していただいている地域のみなさんには感謝をしております。

今後はボランティア活動への保険加入や、十分な安全対策について地元自治会のみなさんへ周知することが必要であると考えております。情報共有や関係各課と連携して地元住民のみなさんが安全安心に地域活動できるようにサポートして

きます。

問 これまで機構改革で部や課の名称が見直されてきたが、組織や名称は市民に分かりやすく、市民に寄り添い、観光客へのおもてなしの心を大切にしたものでなければならぬと考えるがどうか。

答 来々4月の機構改革に向け、現在組織機構の改編を検討しており、市民に分かりやすく効率的な組織体制の確保ができるよう見直しを図ります。

※普請(ふしん)

かつては道路や橋・用水路・堤防などの公共施設は、地域住民による協働活動「普請」により造られ、管理されてきた。現在も一部の地域では生活に密着している道路等の公共施設について、協働活動「普請」として地域住民により維持保全を行っている。

避難所について

自民党議員団

梶田 貢 議員



問 別府市では、台風接近

などにより、事前に避難所を開設していますが、近年、南部地区公民館を南部地区の住民の避難所として開設していることが多いと思う。事前の避難を想定していると思うが、水害を想定した場合、地域住民は、氾濫する可能性がある朝見川を越えて避難所である南部地区公民館に行かなければならないという不安を感じている。南部地区としては、風水害での避難所として「ふれあい広場サザンクロス」を開設して欲しいという意見があがっている。今後の避難所開設について尋ねたい。

答 市では、台風接近などにより、災害発生前の明るい時間帯に事前避難ができるよう避難所を市内数ヶ所に開設しています。

台風等の影響の予測により、市内でのバランスを考慮し、その都度、避難所を設定し開設しています。

その中、南部地区、浜脇地区方面については、避難所1箇所として南部地区公民館を開設する場合がございます。が現状ですが、南部地区の自治会等から、議員ご指摘の内容もお伺いしています。先日の8月14日の台風10

号における避難所開設では、市内12ヶ所を開設し、浜脇地区、南部地区方面については、南部地区公民館、サザンクロスを開設したところですが、災害予想にもよりますが、今後も同地域の避難所としては、近年の降水量による朝見川からの浸水被害も想定し、サザンクロスを南部地区の避難所として開設する方向で進めていきます。

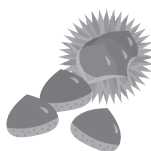
住宅確保、連帯保証人について

公明党

穴井 宏二 議員



問 民間住宅の入居に際し、高齢であることや、保証人がいないことから、入居を断られるといった相談を時々受けることがある。保証人がいない方、単身高齢者や障がい者等が賃貸住宅を確



保したい場合の入居支援は緊急の課題となっている。保証人の問題を含めこのよ
うな住宅確保要配慮者への支援として住宅セーフティ
ネット制度が開始し2年経
つが、別府市内の支援団体
や登録住宅の状況は。

答 市内には、居住支援法人1カ所、登録物件について
は、4戸住居があります。
連帯保証人については、
日本賃貸住宅管理協会「家
賃債務保証事業者協議会」
等の保証会社が借主の連帯
保証人に近い役割を果たす
業務を行っている窓口を紹
介します。

問 市営住宅の連帯保証人の
問題について、入居時に
条例により連帯保証人2名
をたてるのが定められて
いるが、この連帯保証人の
資格と責務の内容や頼める
人がいない等の事情により、
最近、保証人の方がなかな
かみつからないという話を
聞くようになった。高齢化
が進み身寄りのない単身高
齢者の方が増えていくのが
確実な状況であるといわれ
ている。国土交通省が示した
公営住宅管理標準条例(案)
では、連帯保証人の規定を

削除しているが、承知して
いるか。また、別府市でも
社会状況を鑑み、条例の変
更を含め運用を変更する等
柔軟な対応が必要ではない
か。

答 国の公営住宅管理標準
条例(案)の通達については
承知しています。
連帯保証人確保の相談も
あることから、条例改正も
視野に入れて運用の見直し
を検討します。

住民自治を支える力
について

公明党
市原 隆生 議員



問 今年の10月・11月で民
生委員の改選があるとのこ
とだが退任者が出た後に後
任の方が決まらない、見つ
からないという状況がある。
高齢化が進む中で、今後更
に民生委員も含め、地域の
役員の引き受け手がなくな
り、自治会運営自体も支
障をきたしてくるのではな

いかと心配をしている。こ
の点について、市内の現状
と今後の見通しについて教
えてください。

答 民生委員は法律に基づ
き社会奉仕の精神を持って
地域の社会福祉の増進に努
める民間の奉仕者です。地
域における問題解決に向け
た支援活動を行っています。
別府市の定数は254名で
すが若干の欠員があります。
また委員の平均年齢も年々
上がっている状況です。

地域の中でその活動も多
様化、複雑化しており、役
割も重要性が増しているが、
そのことがかえって敬遠さ
れる原因となっているので
はないかと思う。活動自体
についても見直しが必要で
はないかと思うし、若い方
に対しても、地域とPTA
等、学校関係者との交流の
場で、地域活動参加への関
心を持ってくれるよう人間
関係を深めていけるための
支援をお願いしたい。



公共施設の省エネ化の
取組みについて

自民党議員団
阿部 真一 議員



問 380施設の公共施設
で、経費削減の面から多くの
取り組みをしている、近年電
力の自由化により、本市の公
共施設についてはどのような
取り組みを行っているのか。

答 電気事業法等の改正に
伴い、電力の小売参入の全
面自由化が平成28年4月よ
り実施されています。これ
を受け、市役所本庁舎、競
輪場、水道局などでは平成
28年度より新電力を導入し
ています。また、指定管理
者の管理施設においても導
入しているものもあります。

問 新電力の導入により、
本庁舎の経済的コスト減に
どのくらいの効果があったか。

答 新電力導入前の平成27
年度の年間使用料金が
3209万6千円、新電力

導入後の平成29年度が
2717万3千円、平成30年
度が2703万8千円となっ
ており、年間約500万円
の経費削減になっています。

問 未導入の施設もあり、
全公共施設への導入が望ま
れる。今後、民間企業での
競争が多くなることが予測
されるが、企画部は全公共
施設のコスト減の取り組み
を、総務部は新電力導入指
針や要綱など示し、各課足
並みを揃えて取り組んでほ
しい。

答 施設の経費削減につい
ては、全庁的に取り組む事
項と認識しており、省電力
に向けた取り組みについて
も、各施設の状況の把握に
努め、関係部署と連携しな
がら進めていきます。

福祉サービスのあり方
検討委員会について

市民クラブ
三重 忠昭 議員



問 社会保障や経済の支え

手が減る一方で、社会保障を必要とする方が増加している。事業の見直しや廃止によって生み出された財源をより効果的に活用し、福祉の充実や「ともに生きる条例」の内容を具体化していくなど取り組んでいかなければならない。検討委員会のこれからの進め方はどうなっているか。

答 160ほどの福祉サービス事業のうち、あり方を検討する事業として11事業が選定され意見をいただいています。11月には意見書を市長に提出します。

問 教職員の超勤・多忙化改善に向けて、新年度予算で教職員の勤務時間を把握するための勤怠管理システムがまだ導入されていないが、

答 2学期末に向けての導入を急いでいます。

問 部活動指導員の人材確保に苦慮されているようですが、時給の増額や、待遇の改善など新たな対応策を協議していく必要があるのではないか。

答 スポーツ団体等と連携

した人材確保の方法についても検討します。

問 学校給食施設については、5年後を目途に新たな給食施設を計画しているが、これから小学校に上がる子どもの保護者へのアンケート実施はしないのか。

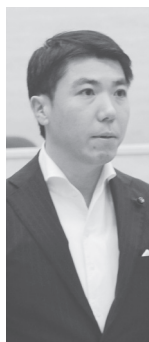
答 想定していません。基本計画策定時に意見・要望を伺う場を設けます。



県道完成要望・高齢運転者支援・観光について

自民新国会

もり 森 だいすけ 大輔 議員



問 県道富士見通南立石線は工事着工から約30年近く経つが未だに完成していない。再三の工期延伸に対し

て地元説明会もない。道路完成予定日が2021年度末にまた延期されたが、別府市はこの道路の優先順位をどう考えているのか。今度こそは必ず道路完成を実現させていただきたい。

答 大変重要な道路という認識で、ここまで地元の皆様を待たせたのは別府市行政にも責任があります。これ以上の延長は許さないと、いう決意で県や国へ地域の現状を伝えて、2021年度に必ずや実現させていたたく為に全力で活動をしていく決意です。

問 相次ぐ高齢運転者の交通死亡事故を受けて、他の自治体でもアクセルとブレーキの踏み間違い防止装置設置を補助する取り組みを始めていますが、別府市は事故防止対策を考えているのか。

答 公共交通全体の政策を考えながら、安心して免許返納できる対策を行い、国の方にもある程度の方向性を示していただきたいながら、別府市独自の対策も含めて慎重に検討します。

問 日韓関係の悪化により韓国からの訪日観光客が激減し、別府観光に与える影響も危惧されている。今後の観光戦略をどう考えているのか。

答 ラグビーワールドカップ日本大会の開催もあるため、県や市内関係団体と連携して、欧米や太平洋州からの観光客誘致にも取り組めます。

別府公園文化ゾーンについて

公明党

あらかね 荒金 たくお 卓雄 議員



問 新図書館が文化ゾーンに新設する計画が発表された。周辺にはビーコンプラザ、しいきアルゲリッチハウス、現美術館があり、別府公園東側にはコーヒー店が出店する。新図書館の完成時に向けて、これらの周辺施設との関連性のある整備が求められる。先ずは、文化ゾーンの松林内にある中

国烟台市の鷹の像や、点在している姉妹都市との記念植樹などを移動して一カ所にまとめることを考えたかどうか。

答 文化ゾーンの記念植樹や友好都市の像などは、別府市の国際文化交流の歴史を知る貴重な資料です。これらを集めたシンボルゾーンは、周辺の魅力あふれる施設と連携することにより新しい観光資源にもなります。周辺施設との回遊性を高めるにはどうするかなど、慎重に検討します。

問 アルゲリッチハウスへの通路や、駐車場など一休感のある相互利用などについても早期に、近隣エリアの諸施設を所管する関係機関と協議する場を設けてもらいたい。

答 周辺施設との相互連携や利用者の回遊性を期待する点も、文化ゾーン選定の一つの判断材料でした。できるだけ速やかに協議の場を設けて、相互利用のあり方を検討します。

長野市長の政治姿勢について

日本共産党議員団

平野 文活 議員



問 「儲かる別府」の成果について総括的に説明してほしい。

答 観光客や平均所得、市民税収も増えており長野市政4年間の実績です。

問 観光客や税収増は全国的傾向であり長野市政の実績とは言えない。

問 「観光で稼いで福祉に充てる」と言うが、福祉は充実したのか。

答 認可保育園や放課後児童クラブの増設増員、学校のエアコンやトイレ洋式化、高齢者バス代補助などに取組んできました。

学校エアコンやトイレ洋式化は評価するが、あとは他市の方が進んでおり実績

とは言えない。福祉や教育、子育て支援は県下でも遅れていると思う。2期目には福祉の見直しを掲げているが、住民福祉の増進が自治体の役割であり、この基本を踏み外さないようにして欲しい。

問 公共工事の落札率が高いのも長野市政の問題のひとつである。統合中学（別府西中学校新築工事の落札額（率）はいくらか。

答 税込み額で20億7350万円、落札率は99・86%です。



子ども医療費無料化について

日本共産党議員団

美馬 恭子 議員



問 6月市議会定例会の一

般質問で、「喫緊の問題であり、早急に考えていきたい。」との答弁をいただいたが無料化対象範囲について説明してください。

答 令和2年10月より、小中学生の通院に係る医療費まで助成範囲を拡大します。ただし、今回はあくまでも経済的支援の観点から市民税非課税世帯の方を対象とします。概ね400人の小中学生が対象となり、助成額の見込みは年間約15000万円と試算しています。

問 全国状況について伺います。通院費、入院費の助成を中学卒業までしている自治体はそれぞれどのくらいの割合か。また、通院費にかかる助成のうち所得制限や一部自己負担を設定している自治体の割合はどのくらいか。

答 平成30年4月現在の厚生労働省の調査結果によると、全国1741市区町村のうち、通院費を中学卒業まで助成しているのは1552市区町村、全体の89・1%、入院費については1671市区町村、全体の96・0%です。所得制限を

設定しているのは247市区町村、全体の14・2%、一部自己負担を徴収しているのは652市区町村、全体の37・4%です。

国道500号の歩道拡幅計画について

自民党議員団

松川 章三 議員



問 国道500号拡幅計画の全体像はどうなっているのか。

答 県の工事で、国道10号から海地獄交差点まで、無電柱化と歩道整備を行います。汐見工区は無電柱化と歩道整備を実施中です。

問 マルシヨクやまなみ店の砂原交差点から、海地獄の交差点までの鉄輪工区は、国道500号につながる市道が国道に比べかなり低い。整備後、急な坂道になり、民家からの出入りが難しくな

ることはないか。

答 市道に影響の出る箇所については、勾配調整のため必要な取り付け区間をとるなどして対応します。

問 鉄輪工区は鉄輪保育園、朝日幼小学校、朝日中学校の通学路になっており、園児、児童、学生、地域住民が横断する生活道路である。当該道路は、直線で勾配が急なため、重大事故が多発している。歩行者を守るためのガードレール、安全柵、安全ポールがあれば安全を確保できると思う。交差点部の歩行者の安全対策を講じた工事の早期完成を強く県に要望してほしい。

答 市長が会長をしている別府・耶馬溪・行橋ルート国道整備促進期成会で、県知事に書面で要望しているが、今後も引き続き要望してまいります。



別府の自然を守る
施策について

自民党議員団

首藤 正 議員



問 別府の自然を守ることは、別府の宝である温泉を守ることである。温泉を造りだす源の地下水保護は市民の責務である。近年、新しい開発が進み自然環境が変化する事態が生じている。このため、温泉発電、太陽光発電、農地荒廃について議論してみたい。「温泉発電」の設置状況と条例目的が実施されているのかを説明ください。

答 民間事業者が売電目的で設置した施設が43箇所あります。市の計画では、一般市民も活用されるとありますが、現在は市民には活用されていない現状です。

この事業には、冷却水として大量の水が必要である。現在、水道局の水利用業者は8社のみで他業者は地下水等を利用している。温泉

に影響がないのか調査研究を提言する。

問 「太陽光発電メガソーラー開発」は大規模な林地開発によって自然破壊が進んでいる。現状を説明ください。

答 林地開発は、古賀原、内成地区、東山地区で46haです。森林伐採、造成工事、景観破壊、動植物、災害、温泉、地下水への影響がありますので、今後、調査を実施し、業者に適切な対処を求めていきます。

事業を規制する条例、規則が整備されていない。早急に条例等を制定し、許可条件を厳しくすべきであり、林地開発は中止すべきであると提言する。

給食施設整備と
衛生管理基準について

自民党議員団

松川 峰生 議員



問 給食は、成長期にある

児童・生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスのとれた食事を提供し、健康の増進、体力の向上を図り、食に関する指導を効果的に進める重要な役割を担うため、衛生管理の整った安全な施設で作る必要がある。その重要な役割を担うのがHACCP（ハサップ）だが、どのようなシステムか。

答 HACCPとは食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危険要因を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの危険要因を除去または低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安定性を確保しようとする衛生管理の手法です。

問 2018年6月13日に公布された改正食品衛生法では、原則全ての食品事業者（給食施設を含む）はHACCPの考え方に沿った衛生管理に取り組むこととなっているが、今後どのようにHACCPを導入し、施設整備を進めていくのか。

答 新共同調理場は、HACCPの考え方に基づき策

定された学校給食衛生管理基準の内容を基本に、施設や設備の整備等ハード面及び衛生管理等ソフト面の両面からHACCPに従って整備していきます。

いじめ・児童福祉について

自民党議員団

手束 貴裕 議員



問 いじめ認知件数が急増しているが、どのように対応しているか。

答 認知件数の増加は、昨年改訂しました「別府市いじめ防止基本方針」に基づき、けんかやふざけ合いであつてもその背景や被害性等に着目し、いじめの該当性を判断することにより「積極的な認知」が進んだためと捉えています。校内いじめ対策組織を中核に、いじめの防止、早期発見、対処に努めています。授業でも教科化された「特別の

教科「道徳」や学級会、学年集会等でのいじめ問題を扱っています。

問 いじめ認知アンケートは家で書かせる等、配慮ができるか。

答 児童生徒の訴えをより受理できるように具体的な対応を協議します。

問 法改正により、放課後児童支援員の配置が条例を改正すれば1人でも可能になったが別府市の対応は。

答 現時点で支援員の数は国の基準通りとし、条例の改正等は行っていません。

鉄輪地獄地帯公園用地
売却問題について

行財政改革クラブ

泉 武弘 議員



問 なぜ公園用地を安く売ったのか。鉄輪地獄地帯

公園のかまど地獄と山地獄に挟まれた公園の中心部約400坪を約400万円で売却した。温泉権を無償で譲渡したが間違いはないか。

答 間違いありません。

問 区域変更を1日ですしているが。

答 4年前で記憶にありません。

問 売却した理由は。

答 相手先から市有地売り払い申請書が提出されたためです。

問 売却した土地の公有財産台帳の評価額は約530坪で、1238万円、近辺の路線価の平均は6万3千円となっている。売買実例は、平成3年風呂本で土地80坪と温泉権が7000万円で、地獄蒸し工房の隣接地は57坪が4500万円、坪当たり78万円で売買されている。市の売却価格が非常に安い。

また、温泉権は無償で譲渡した。グリコのおまけではないが、市の土地を買えば温泉をただで付けてくれる異常な取引だが。

答 鑑定評価に従い売買しました。

問 特定の人だけ売買交渉する随意契約にしている。なぜ、誰でも売買に参加できる競争入札にできなかったか。

答 参加者が見込めなかったからです。

問 官民の境界はどうなっているのか。

答 境界杭は設置されていません。

小学校給食のセンター化について

市民クラブ

加藤 信康 議員



問 小学校給食の給食センター化について、学校給食施設のあり方検討委員会の意見書が出て以降、説明会開催から教育委員会決定までは短期間であり、拙速に決めた感がある。保護者や

市民にも反対や心配する声がなく、なっているわけではない。市民や関係職員と今後どう向き合っていくのか。

答 方針決定にあたっては意見書を尊重し、方針決定前に保護者や関係者等に説明会を開催し、意見等の聴取に努めました。そして多くのご意見・ご要望をいただきました。

共同調理場の現状を鑑みると、一刻も早い施設整備が必要です。今後、基本計画策定から新共同調理場の開設まで、検討委員会及び保護者等の皆様からのご意見やご要望を念頭に取り組むとともに、引き続きご意見等をお聞きする機会を設けながら、学校給食が園児・児童・生徒の心身の健やかな成長に資するよう全力で取り組んでいきます。また、調理員・栄養士など関係職員とも意思疎通を図るよう努め、学校給食の目的を達成するためにしっかりと取り組んでいきます。



インクルーシブ防災事業について

公明党

堀本 博行 議員



問 平成28年から「福祉フォーラムin別枠速見実行委員会」と市が連携し3年間実施しているがこれまでの取り組みは。

答 第1に個別避難支援計画の作成を3年間モデル的に行っています。第2に自治会や福祉関係者、行政の協力を得て避難訓練を障がい者自身と地域住民約200人が参加する避難訓練を実施しました。第3に障がい者団体と福祉事務所が協力する「安心ネットワーク」の構築を目指し意見交換を持ち今年1月ネットワークの立ち上げが行われました。第4に研修会を開催しています。行政、福祉事務所相談支援専門員、ケアマネージャー、自治会等各課題に応じた研修会を開催し要配慮者支援の仕組み作りへ

の理解を深め実践的な研修を行っています。

問 取り組みの成果と他市にない特徴はどのようなものか。また、今後の課題は。

答 第1に大学教授などアドバイザーの協力を得て、個別避難支援計画作成の取り組みの効果を調査し進めています。第2に障がい当事者も参加し訓練を実施しています。第3に障がいのある人を中心とした団体である「フォーラム実行委員会」が事業の主となっている事です。第4に市民と行政が協力することで、自主防災組織と地域にある企業や施設、学校、地域団体等が参加し多様な想定を検証する防災訓練が出来る様になりました。また、今後は避難後の生活支援まで視野に入れ仕組み作りを検討していきます。



別府市議会政策研究会活動報告

別府市議会では、市政に関する重要な政策及び課題研究を行うことを目的に「別府市議会政策研究会」を設置しています。

本研究会は、全議員を対象に令和元年8月9日、講師に第一法規株式会社 鳴瀬 正芳氏を迎え、「法制執務基礎研修」を開催しました。

研修会では、法制等に関する基礎的な知識を身につけ、法体系の考え方や法令と条例の繋がり等を習得することができました。今回の研修の成果を、今後の政策的条例の策定及び政策提言の際に活用していきたいと思っております。



令和元年 第4回市議会定例会会期日程 (予定)

12月5日	議案上程
10日	議案質疑
11日	委員会付託
13・16・18日	常任委員会審査 一般質問
20日	委員長報告、討論、表決

※令和元年第4回定例会の請願の受付期限は11月26日(火)17時までです。
※日程は変更することがあります。

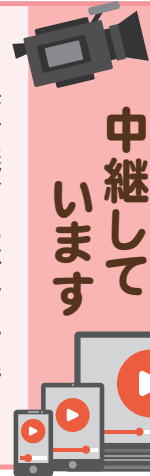
傍聴のご案内



本会議はどなたでも傍聴できます。お気軽に議会棟4階にお越しください。傍聴席は80席あり、車いす席も6台分用意しております。

聴覚障がい者の議会傍聴については、手話通訳・要約筆記の対応をしております。対応を希望される方は、傍聴の3日前までに議会事務局にお申込みください。

本会議を 中継して います



別府市議会では、市民の皆さまに議会をより身近に感じていただけるよう、ケーブルテレビとインターネットによる本会議の放送を行っています。スマートフォン、タブレット端末でも本会議の生中継と録画中継をご覧いただけますのでご利用ください。

放送日時

本会議開催日(午前10時から)

放送内容

議案の提案理由説明、議案質疑、一般質問など

放送メディア

○ケーブルテレビでの中継

CTBメディア

とんぼチャンネルで生中継します。

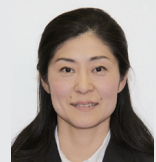
○インターネットでの中継

別府市議会ホームページ
<https://www.city.beppu.oita.jp/gikai/>

にアクセスしてお入りください。
(また、全日程終了後、概ね1週間後から約1年間録画中継を放映しています。)

※議会中継は公式記録ではありません。

公式記録は本会議後に調整する会議録となります。



編集後記

この度、広報広聴委員会の副委員長を賜り、新人議員ではございますがしっかりと務めてまいります所存でございます。久しぶりの数少ない女性議員です。女性の視点で、そして母の視線で市民の皆さまに寄り添ってまいります。と思います。

さて、当委員会では、本年度も市民と議会との対話集会を開催致します。本年度は市内の高校4校を訪問し、生徒の皆さんとの活発な意見交換や、若々しい観点での発想に触れられるのではないかと楽しみにしております。

今定例会では、予算審査と決算審査の循環性を確保するため、予算決算特別委員会を開催しました。また、18名による一般質問が行われました。議会の役割として、今後とも市民生活の向上と安心、安全な街づくりに努めてまいりますので、市民の皆さまのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

広報広聴委員会

副委員長 日名子 敦子